



インドネシア、カブミ歌舞団来訪

昨年11月静岡市国際交流協会主催『静岡わいわいワールドフェア』に参加するため、インドネシア大使館からの要請でバンドンよりインドネシア教育大学のカブミ歌舞団のメンバー 9 名が来日しました。

しかし、当日はわずか40分の出演のみのため、他にも演奏の機会を持ちたいということで、依頼の連絡がありました。JLPT一週間前であり学生の動員は難しいなど多々制限はありましたが、夕方1時間ほどの時間でならと、専門学校でのミニコンサートを提案いたしました。

チームには卒業生のアリスさん（リーダー 2001年生）とイワンベルさん（クンダン演奏 2003年生）がいました。二人のことを知り、彼らの為とあっては何としてでも一肌脱がなければならない、私の気持ちはそうでした。特にイワンベルさんには在籍中数えきれないほどの交流活動に参加してくれた恩義がありました。

インドネシアと深い関わり合いのある支援者様や地域の皆様（八幡三丁目町内会役員の方々）など、限られたお客様だけにご案内を出させていただきました。

蓋を開けますと、心の奥にまで流れて来る優しく懐かしいアングルンの竹の音、クンダンの素朴な響きが会場いっぱいにあふれました。「ああ、これだ！！」私の心が一気に喜びで震えました。「これこそ私たちが大切にしてきたもの、大切にしなければならないもの」これまでの学校と学生たちの母国との長いお付き合いが蘇りました。気が付けば、踊り手に誘われて竹中さんや靱矢先生が踊っていました。「人前では恥ずかしい」などという言い訳は全く不要、無粋でした。内からのいざないに身を任せていました。心が開放され、会場は一つになりました。これがまさにKKGです。



アングルン

理事長 兼 専門学校校長 袴田 靖子



【インドネシア教育大学】カブミ歌舞団のメンバー



静岡市自治会連合会長 中村直保様